DCMグループ 重点課題の目標・KPI

DC		里,	点課題の目標・KPI					
			重点課題		目標•KPI			
No.	重点課題グループ 〈何のために〉	No.	重点課題 〈何をするのか〉	No.	KPI	目標年 (基準年)	目標	
1	ウンドライン ではまいのの はいのの との では	1	人と地域に愛される 生活館型ホームセンターの構築	(1)	(a)改装等による成功事例の既存店舗への導入率	2025年度	公開する	
				\-/	(b)人と地域に愛される新コンセプトの ホームセンター店舗数	2030年度	25店舗に拡大する	
				(2)	・人の健康と環境にやさしい商品の 開発品数	2030年度	累計500品に拡大する	
				(3)	・地域の治安に寄与する防犯商品の 開発品数	2030年度	累計100品に拡大する	
				(4)	・交通事故防止商品の 開発品数	2030年度	累計150品に拡大する	
				(5)	・バリアフリー新法の認定店舗数	前年度比	拡大する	
		3	あらゆる人への生活支援・便利サービスの進化	(1)	・ 高齢者支援の新サービス			
			地域のニーズに合わせた 新たな事業の導入			2030年度	100店舗に導入する	
		4	ハード特化型のプロ・DIY支援店舗の 構築	(1)	・ ホダカ店舗	2025年度	店舗数100店舗を達成する	
						2030年度	売上高1,000億円を達成する	
				(2)	・プロ•DIY支援店舗数	2030年度	40店舗に導入する	
II		5	豊かなくらし、資源循環と脱炭素に 貢献する商品の開発・販売	(1)	 主な商品カテゴリーの開発商品 (PB・SB)における持続可能な原料(FSC認証)比率 ※紙・パルプ ※木材は非対象 	2030年度	100%を達成する	
				(2)	・資源循環・廃棄物削減につながる商品の 開発品数	2030年度	累計300品に拡大する	
				(3)	・水質改善・海洋汚染防止につながる商品の 開発品数	2030年度	累計100品目に拡大する	
				(4)	・住宅リフォームをDIYできる商品の 開発品数	2030年度	累計1,000品	
				(5)	・省エネルギー化・CO2削減につながる商品の 開発品数	2030年度	累計500品に拡大する	
		6	商品の包装・容器の削減	(1)	容器包装リサイクル法の再商品化を委託した プラスチック量 ※売上高100万円あたり原単位	2030年度 (2016年度比)	30%削減する	
		7	店舗での廃棄物の回収・削減、再利用、 リサイクルの推進	(1)	・プラスチック使用量削減の目標	2024年度	公開する	
				(2)	・店舗での資源回収・引き取りによる リサイクルの目標	2024年度	公開する	
				(3)	(a)全店舗のプラスチック・紙他の廃棄物量 ※売上高100万円当たり原単位	2025年度 (2021年度比)	10%削減する	
						2030年度 (2021年度比)	20%削減する	
					(b)全店舗のプラスチック・紙他のリサイクル量 ※売上高100万円当たり原単位	2025年度 (2021年度比)	5%拡大する	
						2030年度 (2021年度比)	10%拡大する	
					(c)全店舗のプラスチック・紙他の再利用量 ※売上高100万円当たり原単位	2025年度 (2021年度比)	5%拡大する	
						2030年度 (2021年度比)	10%拡大する	
					(a)店舗のエネルギー量			
		8	店舗の省エネルギー推進と再生可能	(4)	(b)店舗のCO2排出量	2024年度	公開する	
			エネルギー利用の拡大		(c)店舗のエネルギー利用に関する中長期目標			
III	新たな価値を				(a) 重大製品事故 ※製品瑕疵による重大事故の場合を対象			
	共創するお客さまとの関係深化	9	商品品質の追求とVoCを 取り入れた改善	(1)	(b)知的財産抵触	都度	公開する	
					※訴訟で敗訴等の場合を対象 (c)法令順守違反	MI 1.35	— 1713 7 W	
					※訴訟で敗訴等の場合を対象 ・お客さまからの商品品質改善			
		10	DXによる事業・サービスの進化	(2)	ご意見承り件数	2023年度	公開する	
					・ECと実店舗の双方を活性化する取り組み	2023年度	開始する	
				(2)	・DXを活用する対象領域	2023年度	拡大する	
		11	店舗でのDIY啓発と情報発信	(1)	• DIY強化店舗数	2030年度	60店舗に導入する	
IV	災害に強い レジリエントな 地域の支援	12	地域の防災拠点としての確立	(1)	・基本方針	2024年度	公開する	
		13	防災用品の開発・販売	(1)	・防災商品の開発品数	2030年度	累計150品に拡大する	

DCMグループ 重点課題の目標・KPI

		= 7	点課題の目標・KPI 重点課題		目標•KP	ı		
No.	重点課題グループ			No	KPI	目標年	目標	
	〈何のために〉	No.	〈何をするのか〉	NO		(基準年)		(**)
V	多様な人材が活躍 できる職場づくり と人権尊重	14	人材開発と働きやすい職場づくり	(1)	(a)人権方針 	2022年度	公開する	(済)
					(b)人権教育を実施した研修時間	2023年度	公開する	
					(a)女性活躍に関する教育を実施した 研修時間	2023年度	公開する	
				(1)	(b)女性管理職比率	2024年度	3%に拡大する 7%に拡大する	
					(c)えるぼし認定	2025年度	取得する	
					・目標達成評価とコンピテンシー判定制度	2023年度	公開する	
					(a)教育支援制度			
				(2)	(b)教育支援制度を使った教育•学習時間	2023年度	公開する	
					(a)健康診断の実施の仕方と実態	2023年度	公開する	
					(b)健康優良法人の認定	2024年度	取得する	
		15			(c)育児休暇を取得する権利を有していた男性従業員の			
		16			育児休業取得率	2025年度	10%に拡大する	
				(1)	(d)くるみん認定	2025年度	取得する	
					(e)有給休暇取得率	2023年度	公開する	
					(f)エンゲージメント率	2023年度		
					(g)離職率	2023年度		
					(h)労使協議会の開催状況	2023年度		
					・店舗業務効率化に向けたデジタル戦略ツールの 導入対象領域	2024年度		
			業務へのシフト	(2)	・ECを活用した店舗運営	2024年度		
VI	記した サカ ボナンスの強化	17	物流におけるCO₂排出削減と 資源有効利用の推進 コーポレートガバナンスの強化と 責任あるステークホルダーとの対話	(1)	(a)DCMサプライヤー行動規範	2022年度	公開する	(済)
					(b)DCMサプライヤー行動規範の全サプライヤーとの合意率	2030年度	100%に拡大する	
					(a)対象工場に対するDCM行動規範に基づく工場評価	2024年度	都度実施する	
					(b)対象工場に対する工場評価制度による監査の実施率	2030年度	100%に拡大する	
					(a)国内物流での労働に関する基本方針	2022年度		
					(b)国内物流でのCO₂総排出量の削減目標	2025年度	公開する	(済)
					(c)国内物流における休業を伴う労災件数の目標	2024年度		
				(2)		2025年度	公開する	
				(3)		2023年度	公開する	
				(4)	コンソリテーションでのCO2削減の目標	2023年度	公開する	
				(5)	・物流拠点の省エネ化によるCO2削減の目標	2024年度	公開する	
				(6)	・輸入業務での紙使用率	2023年度	公開する	
				(7)	・国内配送における再利用型備品の活用による 廃棄物削減状況 (ラップ使用量)	2023年度	公開する	
				(8)	・ 種類別(木・プラスチック)のリサイクル量	2023年度	公開する	
VII				(1)	(a)独立社外取締役人数 女性取締役人数	- 2022年度	公開する	(済)
					(b)取締役会の有効性評価			
					(c)各ステークホルダーとの対話	2023年度	拡大する	
					(a)コンプライアンス・プログラム	2022年度		
					(b)腐敗防止方針		公開する	(済)
					(c)従業員1人あたりの研修時間	2023年度		
		21	リスクマネジメント	(1)	・リスク管理体制の強化案と新たなリスクおよびその対応策	2022年度	公開する	
VIII		22	地域と協働した環境保護• 地域創生への貢献		(a)「DCM森のプロジェクト」森林保全活動の植樹参加人数		420人	
				(1)	(b)同植樹本数	2026年度	8,400本 達成後は維持	
					(c)植樹された樹木に吸収されるCO2量	_	118トン	
				(2)	・「DCM いのちを守る防災プロジェクト」の実施世帯数	2025年度	300世帯 達成後は維持	
				(2)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_~~~	とり に	